

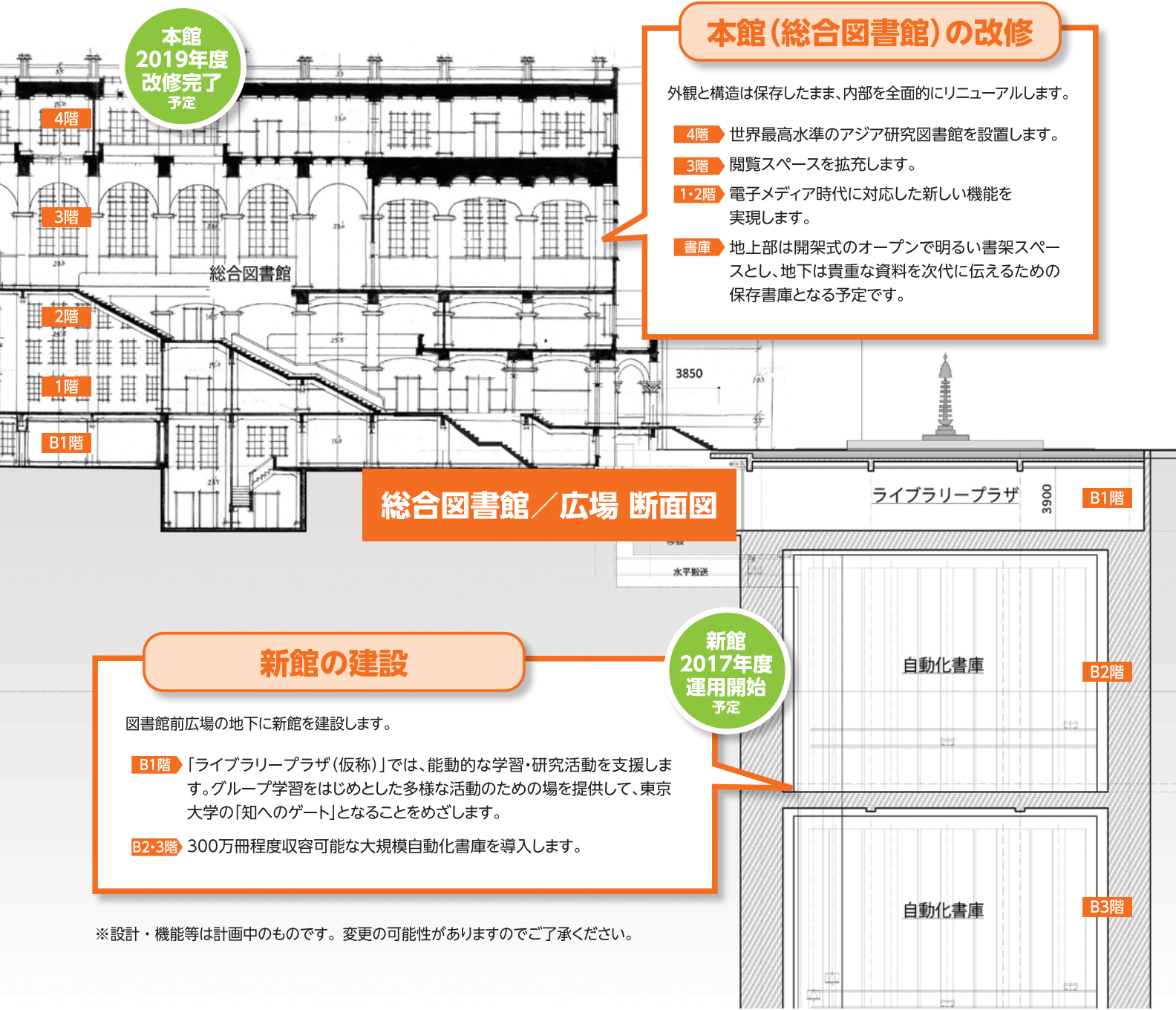
図書館の窓

2013.2

新図書館
特集号

東京大学新図書館計画が いよいよ具体化に向けて動き出します!

新館の建設と本館(総合図書館)の改修からなる大型プロジェクト「新図書館計画」。今年から具体的な工事が始まります。この「新図書館計画」は、大学の知を広く俯瞰しつつ高度な教育研究活動を支援するための、21世紀の「アカデミック・コモンズ」創設のプロジェクトと位置づけられます。300万冊収容可能な大規模自動化書庫を導入して、紙の本と電子書籍を融合したハイブリッド図書館の実現を計画し、新館地下1階に設けられる「ライブラリープラザ(仮称)」では東京大学の「知へのゲート」となることをめざしています。



本館(総合図書館)の改修

外観と構造は保存したまま、内部を全面的にリニューアルします。

- 4階 ▶ 世界最高水準のアジア研究図書館を設置します。
- 3階 ▶ 閲覧スペースを拡充します。
- 1・2階 ▶ 電子メディア時代に対応した新しい機能を実現します。
- 書庫 ▶ 地上部は開架式のオープンで明るい書架スペースとし、地下は貴重な資料を次代に伝えるための保存書庫となる予定です。

総合図書館 / 広場 断面図

新館の建設

図書館前広場の地下に新館を建設します。

- B1階 ▶ 「ライブラリープラザ(仮称)」では、能動的な学習・研究活動を支援します。グループ学習をはじめとした多様な活動のための場を提供して、東京大学の「知へのゲート」となることをめざします。
- B2・3階 ▶ 300万冊程度収容可能な大規模自動化書庫を導入します。

新館
2017年度
運用開始
予定

自動化書庫

B2階

自動化書庫

B3階

新図書館がめざすもの

01 電子図書館と伝統的図書館の融合

本館前広場の地下に、約300万冊収容可能な巨大な自動化書庫をつくります(新館)。そのぶん本館では、より多くの本を手にとることが可能なスペースが生み出されます。電子情報と実物の本の間を自由に往き来させる「ハイブリッド図書館」が誕生します。

02 世界最高水準のアジア研究図書館

本館4階には、アジア研究のための第一級の学術資料、貴重な蔵書やコレクションを集中させます。各国の研究者が集う世界最高水準のアジア研究環境をつくります。

03 教育との連携と国際化への対応

新館の地下1階に、学生たちの学習や自主的な研究活動をサポートする学びの広場「ライブラリープラザ」をつくります。これは東京大学が推進する、教育の改革や国際化の取り組みと連動しています。

04 日本の学術文化の世界への発信

上野/本郷地区には、不忍池を囲むように日本の中心的な博物館、美術館、大学が並んでいます。新図書館は、これら近隣の文化施設と緊密に連携して、世界への日本文化の発信の一翼を担います。

05 出版文化の公共的基盤

電子メディア時代の現在、活字文化は大きな変化を迎えています。新図書館は、大がかりな電子化を進めると同時に、実物の書籍を確実に管理、活用し、学術の発展に役立てていきます。日本の社会に確かな知を保證する公共的基盤の役割を果たします。



Academic Commons 皆様のご参加をお待ちしています!

イベントを
開催しています!

現在、総合図書館ではAcademic Commons Projectというイベントシリーズを開催しています。ブックトークやビブリオバトルなど、これまでにたくさんの学生、教職員の皆様にご参加いただきました。こうしたイベントは新図書館で予定されている活動を先取りして行っているものです。これからも新図書館WEBサイト等でイベント情報をお知らせしますので、ふるってご参加ください。



新図書館WEBサイト

<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/contents/ac.html>

新図書館を
一緒に考えて
みませんか?

附属図書館では、皆さんとともに新図書館を作っていきたいと考えています。新図書館計画に学生の皆さんが参加する仕組みを設けることを現在検討しています。

◆ご理解・ご協力をお願い申し上げます

本館改修が完了する2019年まで、利用者の皆さんには何かとご不便をおかけすることとなります。学習、研究活動への影響を最小限とすべく、工事中の図書館運営に最善の努力をいたします。ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

<新図書館計画に関するご連絡・お問合せ先> ac-info@lib.u-tokyo.ac.jp

PDF版: <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/kanpo> 附属図書館ホームページ: <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>